

公開技報 WEB 操作マニュアル

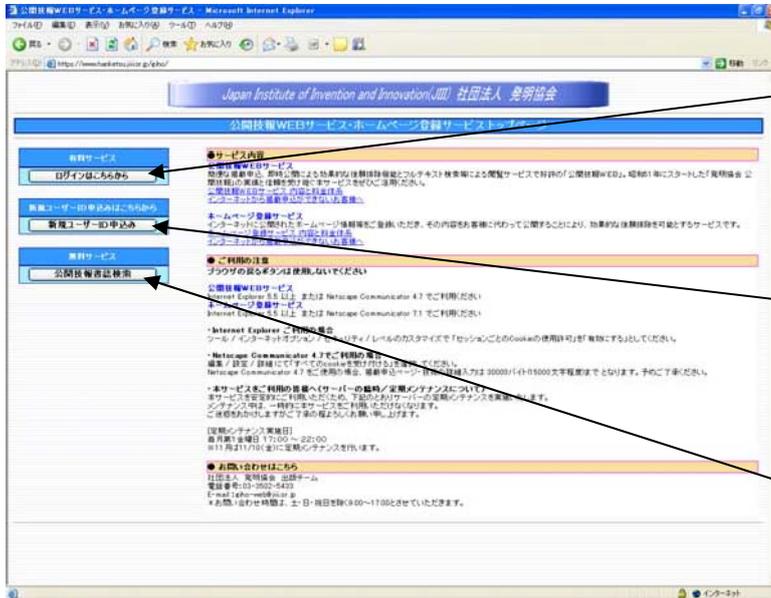
令和 2 年 5 月

一般社団法人 発明推進協会

1 掲載申込について

・公開技報WEB画面

画面1 トップページ

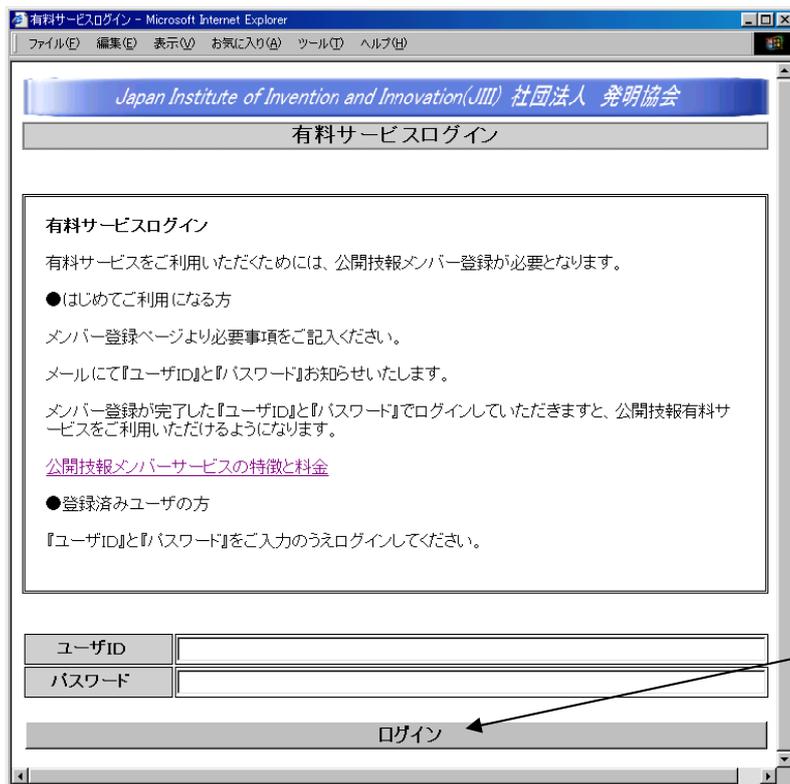


有料サービスログインボタン
ログイン後(画面2)、有料サービストップページ(画面3)へジャンプします。

新規ユーザーID 申込みボタン
サービス利用規約へジャンプします。

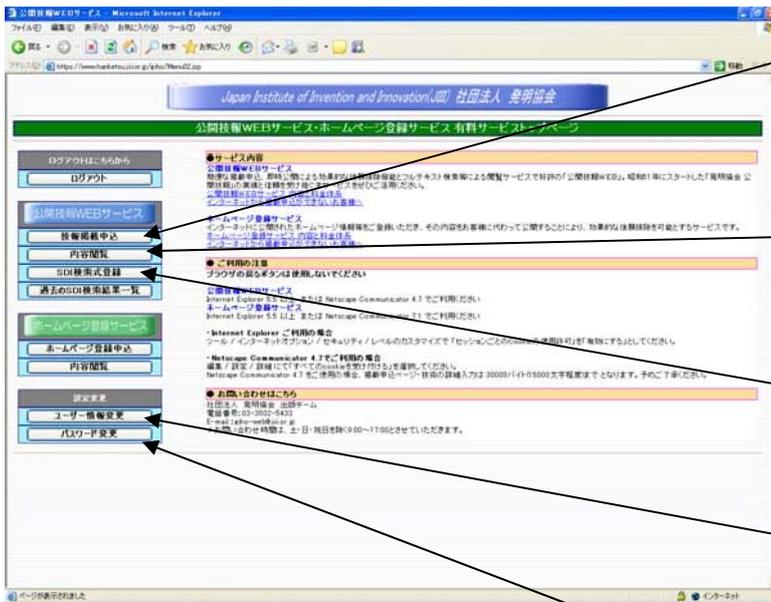
公開技報書誌検索ボタン (無料サービス)
検索条件入力ページ(画面13)へジャンプします。検索結果一覧ページ(画面14)までの閲覧が可能です。

画面2 ログインページ



ユーザ ID とパスワードを入力しログインボタンをクリックします。
※ユーザ ID=お得意先コードとなっております。

画面3 有料サービストップページ



技報掲載申込ボタン
掲載申込ページ (画面 4) へジャンプします。

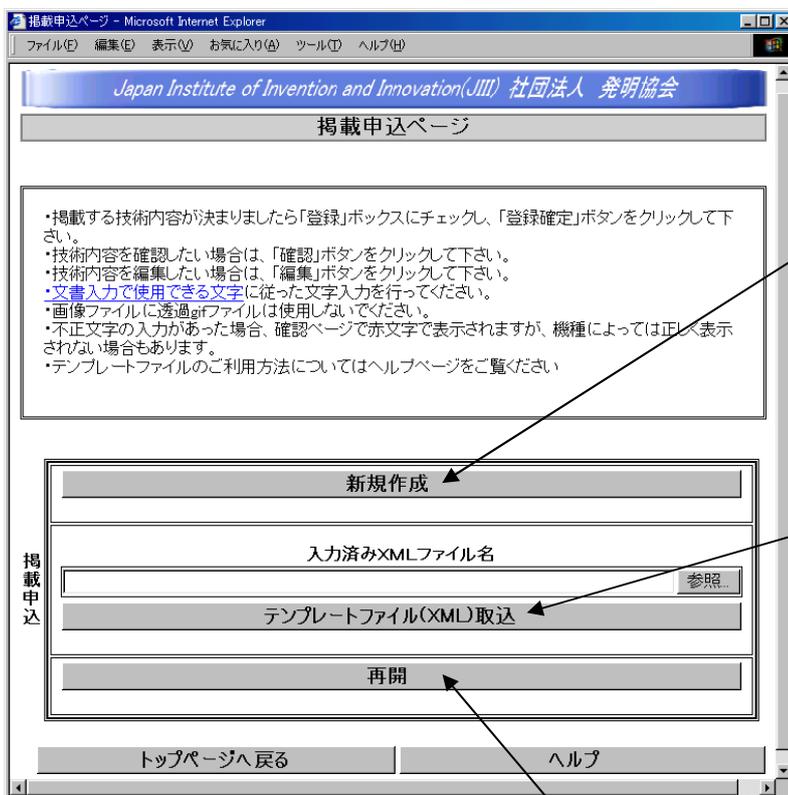
内容閲覧ボタン
検索条件入力ページ (画面 13) へジャンプします。

SDI 検索ボタン
SDI 検索設定ページ (画面 19) へジャンプします。

ユーザー情報変更ボタン
公開技報WEBサービス・登録情報の変更ページ (画面 22) へジャンプします。

パスワード変更ボタン
公開技報WEBサービス・パスワードの変更 (画面 23) へジャンプします。

画面4 掲載申込ページ



新規作成ボタン (画面 5-1、5-2)
掲載する公開技報の内容を入力します。

XML 取込ボタン
入力済みのテンプレート XML ファイルを取込みます。
※テンプレート XML ファイルをご利用の場合には、
https://www.hanketsu.jiji.or.jp/giho/help/C01_help2.html をご確認のうえ、
<https://www.hanketsu.jiji.or.jp/giho/help/gihotemplate.zip> よりテンプレートファイルをダウンロードしてください。

再開ボタン (画面 12)
前回中断したデータを呼び出します。
再開するには中断番号が必要です。

・新規作成

画面 5-1 入力ページ

Japan Institute of Invention and Innovation (JIJI) 社団法人 発明協会

掲載内容入力

掲載または中断について
入力内容を掲載または中断するには、必須項目を入力の上、確認ページへ進んでください。(書式チェック等を行います)。確認が完了しましたら次ページへ進み、登録または中断を選択してください。

公開日: 2002/10/06
整理番号: 200201234

公開日: 書式=YYYY/MM/DD 2年以内の任意の公開日をご指定いただけます。
整理番号: 社内にてご使用の整理番号を入力ください(英数10バイト以内)

●IPC分類

IPC分類	B60R 7/06
IPC分類	
IPC分類	
IPC分類	

IPC分類: 国際特許分類(IPC)を入力して下さい。(複数入力可)
(例): [G11C29/00] [G11C29/00,303 A]

●申請者情報 (必須項目)

申請者名	発明太郎
電話番号	0335025433
メールアドレス	giho-web@jiji.or.jp

申請者名: 漢字 + 半角英数合わせて 70 バイト以内
電話番号, メールアドレス: 電話番号(半角数字 15 バイト以内)、メールアドレス(60 バイト以内)

●技術公開した企業(個人)

公開企業名	社団法人発明協会
住所	東京都港区虎ノ門2-9-14

公開者削除 公開者追加

技術を公開した企業名: 漢字 + 半角英数合わせて 70 バイト以内
住所1、住所2: 漢字 + 半角英数合わせて 36 バイト以内

●技術開発した企業(個人)

開発企業名	社団法人発明協会
住所	東京都港区虎ノ門2-9-14
開発者一覧	発明次郎
	発明三郎

開発者削除 開発者追加

開発企業名: 技術開発者が所属する企業名を入力して下さい(漢字 + 半角英数合わせて 70 バイト以内)
開発者: 技術開発者の名前を入力して下さい(漢字 + 半角英数合わせて 36 バイト以内)

公開開始を希望する公開日を入力してください。最大 2 年先まで指定可能です。

社内でご使用の整理番号を入力してください。最大 10 桁まで (英数 10 バイト以内)。

該当する IPC コードを入力してください。(最大 5 個分類の付与が可能です)

[注意]IPC のレイアウトに沿い入力を行ってください。
(例)正 B60R 7/06
誤 B60R 07/06
⇒メイグループの“0”は不要です。

掲載を申請される企業名 (申請者名)、電話番号、E-mail アドレスを入力してください。
掲載時にメールでご案内いたしますので、必ず受け取る方のメールアドレスを入力してください。

技術を公開する企業名 (個人名) と、その住所を入力してください。
・企業名: 最大 70 バイト=約 35 字
・住所 : 1 欄最大 36 バイト=約 18 字
※公開企業名と開発企業名が同一の場合でも、それぞれの項目に企業名(個人名)を入力してください。

共同公開企業がある場合はここをクリックし、公開企業を追加してください。

技術を開発した企業名 (個人名) と、その住所を入力してください。
・企業名: 最大 70 バイト=約 35 字
・住所 : 1 欄最大 36 バイト=約 18 字
※公開企業名と開発企業名が同一の場合でも、それぞれの項目に企業名(個人名)を入力してください。
※冊子版やPDF表示には、技術を開発した企業(個人)の情報が企業名として掲載されません。

開発に担当された個人名を入力してください。
・最大 36 バイト=約 18 字
・1 企業につき 10 人まで

共同開発企業がある場合はここをクリックし、開発企業を追加してください。

画面 5-2 入力ページ続き

掲載内容入力 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

●公開技報の名称 (必須項目)

グループボックスのロック装置

公開技報の名称: 技術の名称を入力して下さい。(漢字 + 半角英数合わせて 256 バイト以内)
(例: [エンジン駆動発電装置])

●技術の概要 (必須項目)

自動車のインストルメントパネルには小物類を収納するための グループ ボックスが設けられており、その開閉ロック装置として例えば特開 2001-262916号に記載されたものが知られている。この例では収納溝内でロック爪が往復直線動するようにされており、ロック装置全体の大型化の要因となっている。またロック爪が収納溝内でひっかりスムーズに動作しないおそれがある。
本技術は、上記の問題を解決すると共にロック装置の取付角度が異なる場合でもスムーズな動作が得られるようにすることを目的としたものである。|

技術の概要: 技術の概要を入力して下さい。(漢字 + 半角英数合わせて 1600 バイト以内)
※: 太字、斜体、下付文字、上付文字、下線の入力方法はヘルプをご覧ください。

●技術の詳細

図 1 は、インストルメントパネル 10 と グループ ボックス 20 のロック装置近辺を側面から見た模式図であり、図中右方向が車室内側となっている。
図に示すとおり、インストルメントパネル 10 には金属棒からなるストライカー 12 が固定されている。このストライカー 12 にロック装置のロック爪 26 が係合することにより グループ ボックスのロックがなされる。
ロック爪 26 は グループ ボックス 20 に設けられた軸 28 を中心に回転可能とされている。また同じ軸 28 にはキーシリンダー 24 が取り付けられたハンドル 22 が回転可能に設けられている。
以上のような構成において、ハンドル 22 を図において反時計回りに回転させると、ハンドル 22 に取り付けられたキーシリンダー 24 も一体的に回転し、キーシリンダー 24 の左端に係合したロック爪 26 も同時に回転する。
ロック爪 26 の回転により、図 2 に示すようにストライカー 12 とロック爪 26 の係合が解除され、グループ ボックス 20 とインストルメントパネル 10 のロックが解除されることになる。
なお、ロック爪 26 のストライカー 12 と当接する斜面の角度はロック爪 26 の回転に伴い相対的に変化するため、グループ ボックス 20 を閉じる際、ストライカー 12 がロック爪 26 を滑らかに押しつけることができるような角度に設定する必要がある。
また、詳細説明は省略するが、キーシリンダー 24 を自動車のイグニッションキー等により操作することにより、キーシリンダー 24 の左端をロック爪 26 から放すことにより、ハンドル 22

技術の詳細: 入詳細な技術内容を入力して下さい。(文字数制限なし)
※: 上記の「技術の概要」と同じ場合は、空欄で構いません。太字、斜体、下付文字、上付文字、下線の入力方法はヘルプをご覧ください。

●画像ファイル

画像名称	ファイル	代表図
図 1		参照
図 2		参照
		参照...
		参照...
		参照...

画像ファイルの追加・削除

画像名称: 画像名称を入力して下さい。(漢字 + 半角英数 255 バイト以内)
代表図面: 代表図面となる図面を選択して下さい。
図面数: 画像ファイルは最大 20 個ご指定いただけます。
ファイル名: ファイル名及びパスには半角英数、ハイフン、アンダーバーのみ使用して下さい。半角記号は使用できません

掲載または中断について

入力内容を掲載または中断するには、必須項目を入力の上、確認ページへ進んでください。(書式チェック等を行います)。確認が完了したら次ページへ進み、登録または中断を選択して下さい。

確認ページへ 申込ページへ戻る ヘルプ

技術の名称を入力してください。

技術の概要を入力してください。
最大 1600 バイト=約 800 字
※ ①、②等の丸付数字、I、II等のローマ数字
ご使用になれません。入力可能な文字につき
まはしては、P16 をご参照下さい。

技術の詳細を入力してください。
※ ①、②等の丸付数字、I、II等のローマ数字
はご使用になれません。入力可能な文字につ
きまはしては、P16 をご参照下さい。

画像の名称を入力してください。

使用する画像ファイルを選択します。(図
面 6)
※図面ファイルはjpgファイルまたはgifファイル
の形式が利用できます。(透過gifファイル
はご利用できません)
※ファイル名及びパスには半角英数、ハイフ
ン、アンダーバーのみ使用して下さい。%や
\$などの半角記号は使用できません
※名前の変更で画像の拡張子を変更し作成
したファイルは、正しく掲載されませんので
注意下さい。

画面 6 図面の選択

ファイルの選択

ファイルの場所: G:\ho

fig1.gif
fig2.gif

ファイル名(N): fig1.gif 開(O)

ファイルの種類(T): すべてのファイル (*.*) キャンセル

代表図面として表示する図面にチェックを
入れてください。

入力した内容の確認ページへ (画面 7) に
移動します。全ての入力が完了しましたら
クリックしてください。

・掲載内容の確認

画面 7 内容確認ページ

Japan Institute of Invention and Innovation (JIIC) 社団法人 発明協会

掲 載 内 容 確 認 ペ ー ジ

登録番号	公技番号	整理番号	公開日	登録日
		200201234	2002/07/11	

IPC B60R 7/06

●申請者情報

申請者番号	申請者氏名	電話番号	メールアドレス
88888888	発明太郎	0335025433	giho-web@jiic.or.jp

●技術公開した企業(個人)

企業(個人)名	住所1	住所2
社団法人発明協会	東京都港区虎ノ門2-9-14	

●技術開発した企業(個人)

企業(個人)名	住所1	住所2
社団法人発明協会	東京都港区虎ノ門2-9-14	

開発者名一覧

●技報内容

公開技報の名称 グローブボックスのロック装置

技術の概要

自動車のインストルメントパネルには小物類を収納するためのグローブボックスが設けられており、その開閉ロック装置として例えば特開2001-262916号に記載されたものが知られている。この例では収納溝内でロック爪が往復直線動をするようにされており、ロック装置全体の大型化の要因となっている。またロック爪が収納溝内でひっかかりスムーズに動作しないおそれがある。本技術は、上記の問題を解決すると共にロック装置の取付角度が異なる場合でもスムーズな動作が得られるようにすることを目的としたものである。

代表図(図1)

技術の詳細

図1は、インストルメントパネル10とグローブボックス20のロック装置12を側面から見た模式図であり、図中右方向が車室内側となっている。図に示す通り、インストルメントパネル10には金属棒からなるストライカー12が固定されている。このストライカー12にロック装置のロック爪26が係合することによりグローブボックスのロックがなされる。ロック爪26はグローブボックス20に設けられた軸28を中心に回転可能とされている。また同じ軸28にはキーシリンダー24が取り付けられたハンドル22が回転可能に設けられている。以上のような構成において、ハンドル22を図において反時計回りに回転させると、ハンドル22に取り付けられたキーシリンダー24も一体的に回転し、キーシリンダー24の左端に係合したロック爪26も同時に回転する。ロック爪26の回転により、図2に示すようにストライカー12とロック爪26の係合が解除され、グローブボックス20とインストルメントパネル10のロックが解除されることになる。

なお、ロック爪26のストライカー12と当接する斜面の角度はロック爪26の回転に伴い相対的に変化するため、グローブボックス20を開閉の際、ストライカー12がロック爪26を滑らかに押しつけることができるような角度に設定する必要がある。また、詳細説明は省略するが、キーシリンダー24を自動車のイグニッションキー等により操作することにより、キーシリンダー24の左端をロック爪26から放すことにより、ハンドル22を回動操作してもグローブボックス20とインストルメントパネル10のロックを解除することができないようにすることができる。

以上のような構成により、例えばロック爪26が直線上を往復動する場合その移動軌跡がグローブボックス20内に大きく張り出してしまうの比べ、省スペース化となる。またロック爪26を軸28を中心に回転可能に取り付けたため、例えばガイドレール等を用いて往復直線動させる場合に比べ、スムーズな動作を実現することができる。

図2

●集計データ

書誌データ容量(B)	図面データ容量(B)	合計データ容量(B)	金額(円)
1,790	11,416	13,206	3,500.0

次へ 編集

先程入力した内容が表示されます。このままの形で公開されますので、内容に不備がないよう十分確認してください。
※プリントアウトしてのご確認をおすすめします。

必須項目が抜けている場合や、不正文字を使用された場合は赤字で表示されますので、指示どおり訂正してください。(画面10)

※公開時には申請者情報は表示されません。

図面ボタンをクリックする原寸大で表示されます。

掲載データを集計し、掲載金額を表示します。

【基本データ量】
文字 16,000 バイト=約 8,000 字
図面 500 キロバイト

【基本料金】
公開技報メンバー = 3,670 円
一般ユーザー = 4,200 円

【追加料金 (基本データ量を超過の場合)】
文字: 100 バイトにつき 11 円
図面: 1,000 バイトにつき 33 円

内容に不備がなければ次へ進んでください。(画面8)

内容を編集する場合は編集ボタンをクリックしてください。

※修正の場合は、「編集」ボタンより内容確認ページ(画面7)へジャンプしてください。エラーが発生する場合がありますので、ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

※内容に不備がある場合は画面 10 のように表示されますので、再度編集を行ってください。

5

・掲載申込

画面 8 公開技報への登録

Japan Institute of Invention and Innovation(JIII) 社団法人 発明協会

掲載申込ページ

・掲載する技術内容が決まりましたら「登録」ボックスにチェックし、「登録確定」ボタンをクリックして下さい。
 ・技術内容を確認したい場合は、「確認」ボタンをクリックして下さい。
 ・技術内容を編集したい場合は、「編集」ボタンをクリックして下さい。
 ・**文書入力で使用できる文字**に従った文字入力を行ってください。
 ・画像ファイルに透過gifファイルは使用しないでください。
 ・不正文字の入力があった場合、確認ページで赤文字で表示されますが、機種によっては正しく表示されない場合があります。
 ・テンプレートファイルのご利用方法についてはヘルプページをご覧ください

掲載申込

新規作成

入力済みXMLファイル名 参照...

テンプレートファイル(XML)取込

登録作業リスト

SEQ	名称	金額	不正	登録	
1	グローブボックスのロック装置	3,500.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	確認 編集

(登録する案件をチェックしてください) 全て選択 全て外す

チェックが終わりましたら登録確定ボタンをクリックしてください。

登録確定

現在の登録作業リストを一時保存する場合は中断ボタンをクリックしてください。

中断

トップページへ戻る ヘルプ

続けて他の掲載内容を入力される場合はこちらより行ってください。

先程入力した技術案件が表示されます。

内容確認ページへ飛びます。(画面 7)

入力した内容を編集します。(画面 5)

掲載内容を確認後、登録チェックボックスにチェックを入れ、登録確定ボタンを押します。(画面 9)

中断する場合はこちらをクリックしてください。(画面 11)
再開ページから現在の状況呼び出すことが出来ます。

※修正の場合は、「編集」ボタンより内容確認ページ(画面 7)へジャンプしてください。エラーが発生する場合がありますので、ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

画面 9 登録完了ページ

掲載申込受付完了ページ - Microsoft Internet Explorer

Japan Institute of Invention and Innovation(JIII) 社団法人 発明協会

掲載申込受付完了ページ

ありがとうございました。
以下のとおり受付完了いたしました。
「トップページへ」ボタンをクリックしてください。

SEQ	登録番号	公技番号	名称	金額	
1	10092064	2002-500415	グローブボックスのロック装置	3,500.0	公技表示
合計				3,500.0	

トップページへ

ページが表示されました

公技番号が付与され、公開技報 WEB への掲載申込が完了いたしました。

・ 内容の修正

画面 10 掲載内容確認ページ (エラー表示)

掲載内容確認ページ - Microsoft Internet Explorer

Japan Institute of Invention and Innovation (JIJI) 社団法人 発明協会

掲載内容確認ページ

●必須項目の入力をご確認ください:

- 技報の要約

登録番号	公技番号	整理番号	公開日	登録日
		200201234	2002/07/11	

IPC E60R 7/06

●申請者情報

申請者番号	申請者氏名	電話番号	メールアドレス
88888888	発明太郎	0335025433	giho-web@jiji.or.jp

●技術公開した企業(個人)

企業(個人)名	住所1	住所2
社団法人発明協会	東京都港区虎ノ門2-9-14	

●技術開発した企業(個人)

企業(個人)名	住所1	住所2
社団法人発明協会	東京都港区虎ノ門2-9-14	

開発者名一覧

発明次郎	
発明三郎	

●技報内容

公開技報の名称 | グローブボックスのロック装置

技術の概要

代表図[図1]

必須項目がない場合や、不正文字があった場合はこのように赤字で指示が出来ます。編集ボタンを押して入力し直してください。

・掲載作業の中断・再開について

画面 11 中断ページ

Japan Institute of Invention and Innovation (JI) 社団法人 発明協会

中断番号表示ページ

中断番号

・中断情報の受付処理を完了しました。
・番号は必要によりお手元に残して下さい。
・再開時には上記表示の中断番号をご入力ください

(注意事項)

・中断処理は何度でも行うことができますが、再開時に修正を施した場合、前回のデータは上書き更新されますのでご注意ください。その際、新たな中断番号が発行されますのでご注意ください。
・登録確定された時点で、保存データ(中断番号)は削除されますのでご注意ください。
・中断から再開までの期間は一月とさせていただきます。この期間を過ぎた場合、データは削除されますのでご注意ください。

トップページへ

掲載申込ページ(画面 8)で中断ボタンをクリックすると、このように中断番号が付与されます。後日改めて入力する場合や、他部署の方へご確認していただく場合などに効果的です。

注意事項

- ・中断処理は何度でも行うことができますが、再開時に修正を施した場合、前回のデータは上書き更新されます。その際、新たな中断番号が発行されます。
- ・登録確定された時点で、保存データ(中断番号)は削除されます。
- ・中断から再開までの期間 1 ヶ月です。この期間を過ぎた場合、データは削除されます。

画面 12 再開ページ

Japan Institute of Invention and Innovation (JI) 社団法人 発明協会

再開用中断番号入力ページ

中断番号

・中断時の中断番号をご入力ください

(注意事項)

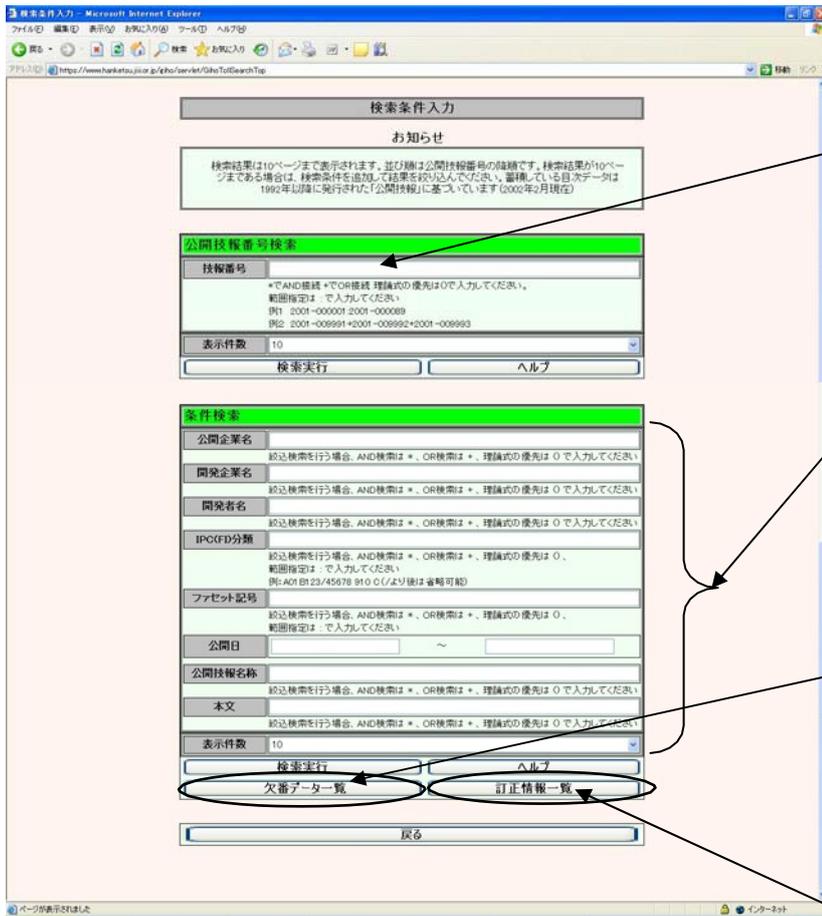
・中断処理は何度でも行うことができますが、再開時に修正を施した場合、前回のデータは上書き更新されますのでご注意ください。その際、新たな中断番号が発行されますのでご注意ください。
・登録確定された時点で、保存データ(中断番号)は削除されますのでご注意ください。
・中断から再開までの期間は一月とさせていただきます。この期間を過ぎた場合、データは削除されますのでご注意ください。

OK トップページへ

中断番号を入力し、案件を呼び出して下さい。

2. 検索・閲覧について

画面 13 検索条件入力ページ



番号検索

番号検索を行う場合はこちらに公技番号を入力して下さい。

条件検索

一定の条件に基づいて検索をする場合は、これらの項目を入力してください。

欠番データ一覧

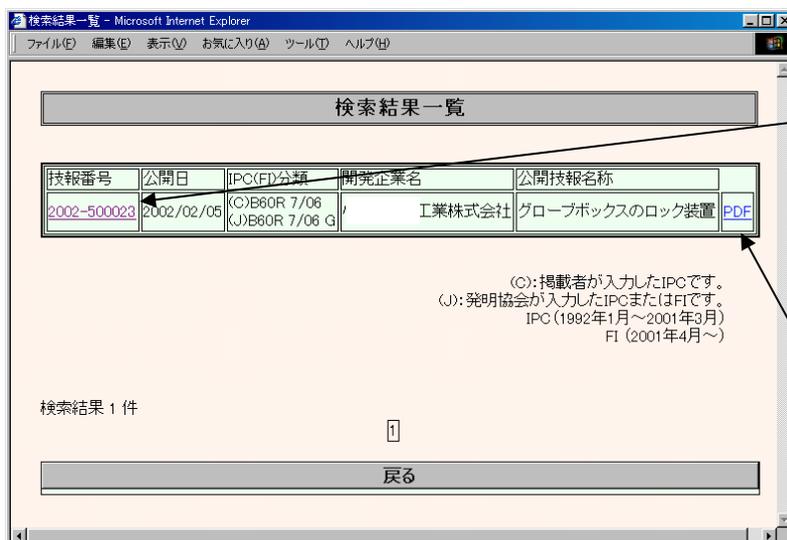
欠番データ一覧ページ (画面 17) へジャンプします。

訂正情報一覧

訂正情報一覧ページ (画面 18) へジャンプします。

※「欠番データ一覧」及び「訂正情報一覧」の閲覧は、公開技報メンバーのみ可能です。

画面 14 検索結果一覧ページ



技報番号をクリックすると公技表示ページ (画面 15) へジャンプします。

PDF の項目をクリックすると PDF 表示 (画面 16) へジャンプし、冊子版レイアウトで内容をご確認できます。

※公技表示ページの閲覧及び PDF の表示は、公開技報メンバーのみ可能です。

画面 15 公開技報表示ページ

公技表示ページ - Microsoft Internet Explorer

Japan Institute of Invention and Innovation (JIIM) 社団法人 発明協会

公技表示ページ

登録番号	公技番号	整理番号	公開日	登録日
10183414	2002-500023	2001-110	2002-02-05	2002-02-05

IPC: B60R 7/06 B60R 7/06 G

●技術公開した企業(個人)

企業(個人)名	住所1	住所2
工業株式会社	愛知県	

●技術開発した企業(個人)

企業(個人)名	住所1	住所2
工業株式会社	愛知県	

開発者名一覧

川本一博	
越後	

●技報内容

公開技報の名称 | グローブボックスのロック装置

技術の概要

自動車用のインストルメントパネルには小物類を収納するためのグローブボックスが設けられており、その開閉ロック装置として例えば特開2001-262916号に記載されたものが知られている。この例では収納溝内でロック爪が往復直線動をするようにされており、ロック装置全体の大型化の要因となっている。またロック爪が収納溝内でひっかかりスムーズに動作しないおそれがある。本技術は、上記の問題を解決すると共にロック装置の取付角度が異なる場合でもスムーズな動作が得られるようにすることを目的としたものである。

代表図図1

技術の詳細

図1は、インストルメントパネル10とグローブボックス20のロック装置近辺を側面から見た模式図であり、図中右方向が車室内側となっている。

図に示すとおり、インストルメントパネル10には金属棒からなるストライカー12が固定されている。このストライカー12にロック装置のロック爪26が係合することによりグローブボックスのロックがなされる。

ロック爪26はグローブボックス20に設けられた軸28を中心に回転可能とされている。また同じ軸28にはキーシリンダー24が取り付けられたハンドル22が回転可能に設けられている。

以上のような構成において、ハンドル22を図において反時計回りに回転させると、ハンドル22に取り付けられたキーシリンダー24も一体的に回転し、キーシリンダー24の左端に係合したロック爪26も同時に回転する。

ロック爪26の回転により、図2に示すようにストライカー12とロック爪26の係合が解除され、グローブボックス20とインストルメントパネル10のロックが解除されることになる。

なお、ロック爪26のストライカー12と当接する斜面の角度はロック爪26の回転に伴い相対的に変化するため、グローブボックス20を開閉の際、ストライカー12がロック爪26を滑らかに押しつけることができるような角度に設定する必要がある。

また、詳細説明は省略するが、キーシリンダー24を自動車のイグニッションキー等により操作することにより、キーシリンダー24の左端をロック爪26から放すことにより、ハンドル22を回転操作してもグローブボックス20とインストルメントパネル10のロックを解除することができないようにすることができる。

以上のような構成により、例えばロック爪26が直線上を往復動する場合その移動軌跡がグローブボックス20内に大きく張り出してしまうのに比べ、省スペース化となる。

またロック爪26を軸28を中心に回転可能に取り付けたため、例えばガイドレール等を用いて往復直線動させる場合に比べ、スムーズな動作を実現することができる。

図2

技報本文検索文字列 | グローブ

技報番号をクリックした際に表示される画面サンプルです。

本文のフルテキスト検索を行った場合、その検索ワードが青色で表示されます。

図面ボタンをクリックする原寸大で表示されます。

画面 16 PDF 表示

発明協会公開技報

公技番号 2007-999999 (43)発行日 2007-01-01 (社内整理番号 9000)

(71)企業名(氏名) 社団法人 発明協会 (51)国際特許分類
住所 東京都港区虎ノ門2丁目9番14号 (C)E05B 19/00
(72)開発者 発明 太郎 (J)E05B 19/14
(54)名称: 鍵構造

技術の概要
発明協会が行っている特許情報提供事業の1つで、研究開発された発明・考案のうち必ずしも特許等により権利化する必要のないものを公開する場を提供し、研究開発の重複や後願特許の成立を防止することを目的としたものである。

代表図面 図1



PDF ボタンを押した際に表示される画面サンプルです。
従来の冊子版と同様のレイアウトとなっております。
プリントアウトして保存するにはこちらの表示形式をお勧めします。

発明協会公開技報

公技番号 2002-500023 (43)発行日 2002-02-05 (社内整理番号 2001-110)

技術の詳細

図1は、インストールパネル10とグローブボックス20のロック装置近辺を側面から見た模式図であり、図中右方向が車室内側となっている。

図に示すとおり、インストールパネル10には金属棒からなるストライカー12が固定されている。このストライカー12にロック装置のロック爪26が係合することによりグローブボックスのロックがなされる。

ロック爪26はグローブボックス20に設けられた軸28を中心に回転可能とされている。また同じ軸28にはキーシリンダー24が取り付けられたハンドル22が回転可能に設けられている。

以上のような構成において、ハンドル22を図において反時計回りに回転させると、ハンドル22に取り付けられたキーシリンダー24も一体的に回転し、キーシリンダー24の左端に係合したロック爪26も同時に回転する。

ロック爪26の回転により、図2に示すようにストライカー12とロック爪26の係合が解除され、グローブボックス20とインストールパネル10のロックが解除されることになる。

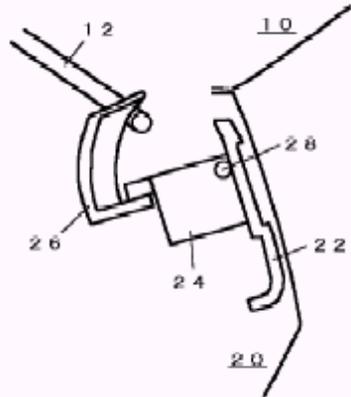
なお、ロック爪26のストライカー12と当接する斜面の角度はロック爪26の回転に伴い相対的に変化するため、グローブボックス20を閉じる際、ストライカー12がロック爪26を滑らかに押しつけることができるような角度に設定する必要がある。

また、詳細説明は省略するが、キーシリンダー24を自動車のイグニッションキー等により操作することにより、キーシリンダー24の左端をロック爪26から放すことにより、ハンドル22を回転操作してもグローブボックス20とインストールパネル10のロックを解除することができないようにすることができる。

以上のような構成により、例えばロック爪26が直線上を往復動する場合その移動軌跡がグローブボックス20内に大きく張り出してしまふの比べ、省スペース化となる。

またロック爪26を軸28を中心に回転可能に取り付けたため、例えばガイドレール等を用いて往復直線動させる場合に比べ、スムーズな動作を実現することができる。

図1



画面 17 欠番データ一覧ページ

2007.1.10

公開技報欠番データ一覧

NO.	欠番技報番号								
1	2002-500057	57	2003-504595	113	2004-505128	169	2005-502387	225	2006-502332
2	2002-500058	58	2003-504701	114	2004-505144	170	2005-502388	226	2006-502347
3	2002-500059	59	2003-504726	115	2004-505182	171	2005-502859	227	2006-502676
4	2002-500061	60	2003-504736	116	2004-505318	172	2005-502873	228	2006-503232
5	2002-500062	61	2003-504768	117	2004-505319	173	2005-502912	229	2006-503610
6	2002-500070	62	2003-504873	118	2004-505581	174	2005-502934	230	2006-504133
7	2002-500071	63	2003-504874	119	2004-505583	175	2005-502935	231	2006-504169
8	2002-500207	64	2003-504968	120	2004-505584	176	2005-503453	232	2006-504213
9	2002-500265	65	2003-505045	121	2004-505585	177	2005-503518	233	2006-504127
10	2002-500358	66	2003-505121	122	2004-505673	178	2005-503522	234	2006-504055
11	2002-500360	67	2003-505147	123	2004-506061	179	2005-503524	235	2006-504280
12	2002-500457	68	2003-505148	124	2004-506156	180	2005-503562	236	2006-504977
13	2002-500458	69	2003-505210	125	2004-506160	181	2005-503566	237	2006-504808
14	2002-500459	70	2003-505253	126	2004-506163	182	2005-503580	238	2006-505075
15	2002-500460	71	2003-505314	127	2004-506169	183	2005-503598	239	2006-505610
16	2002-500461	72	2003-505323	128	2004-506189	184	2005-503836	240	2006-505944
17	2002-500462	73	2003-505558	129	2004-506197	185	2005-503869	241	2006-506462
18	2002-500463	74	2003-505560	130	2004-506214	186	2005-504292	242	2006-506759
19	2002-500464	75	2003-505633	131	2004-506229	187	2005-504395	243	
20	2002-500465	76	2003-505719	132	2004-506230	188	2005-504494	244	
21	2002-500586	77	2003-505994	133	2004-506232	189	2005-504543	245	
22	2002-500652	78	2003-506024	134	2004-506233	190	2005-504607	246	
23	2002-500887	79	2003-506343	135	2004-506239	191	2005-504821	247	
24	2002-500911	80	2003-506441	136	2004-506242	192	2005-504856	248	

画面 18 訂正情報一覧ページ

公開技報訂正情報

下記の公開技報に誤りがありましたので、訂正いたします。

記

訂正日	公開日	公技番号	訂正項目	誤	正
2006年9月1日	2006年8月25日	2006-504698	技術開発した企業(個人)の企業(個人)名		株式会社三谷バルブ
2006年9月1日	2006年8月25日	2006-504698	技術開発した企業(個人)の住所1		東京都千代田区神田 佐久間町2丁目7番地
2006年9月6日	2006年8月24日	2006-504675	開発者名一覧	新井仁	荒井仁
2006年9月19日	2006年9月18日	2006-505046	開発者名一覧		倉知晋士 杉原正通 一色憲和
2006年10月12日	2006年9月8日	2006-504932	開発者名一覧	飯田和男	飯田和男 最山尚治

3. SDI (Selective Dissemination of Information) 検索について

画面 19 SDI 検索設定ページ

SDI 検索を登録いただくことにより、新着情報を E-mail でお知らせいたします。(毎月 1 日、16 日の 2 回)

新規登録ボタンをクリックします。

画面 20 検索キーワード設定ページ

公開技報検索と同様に、検索する条件を、各項目に入力して下さい。

入力が完了しましたら、新規登録ボタンをクリックしてください。

画面 21 検索設定確認ページ

SDI検索キーワード設定 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

SDI検索キーワード設定

お知らせ

新たに登録された公開技報のうち、以下のセクションで設定した任意のキーワードにマッチする公開技報情報をメールにて配信します。
検索キーワードは、検索式ごとに登録します。
新規登録により、検索式を登録してください。すでに登録済みの検索式は、変更処理にて検索条件の変更が可能です。不要となりました検索式は、削除処理にて削除してください。

公開技報番号検索

新規に検索式の登録をするときは、「新規登録」ボタンを押してください。
変更または削除を行うときは、検索式一覧より検索式名を選択し、「変更」または「削除」ボタンを押してください。

検索式名	IPC(FD)分類	開発企業名	公開企業名	本文
<input type="radio"/> 検索式1		発明協会		
<input type="radio"/> 検索式2	G03G15/00			
<input type="radio"/> 検索式3				LED

入力した条件式が表示されます。
公開技報メンバー1IDにつき、10件
までの登録が可能です。

SDI メールの例

〇〇株式会社 知的財産部 発明太郎 様

この度は公開技報メンバー専用ホームページより
SDI 検索をご利用いただき、誠にありがとうございます。

下記の通り登録された情報に対する SDI 検索結果内容をご報告申し上げます。

検索実行日：2002/07/16
ユーザーID：12345678

==== 検索結果=====

検索式名：A 0 1 B

 公技番号：2002-501356
 公開日：2002/07/10 15:35:20
 FI(IPC)：(C)A01B 12/00
 公開企業：株式会社△△△△
 名称：砕土機

 公技番号：2002-500808
 公開日：2002/07/10 15:39:15
 FI(IPC)：(C)G03G 21/00 370
 公開企業：××××株式会社
 名称：耕うん用作業機

=====
 <お問い合わせ先>
 (一社) 発明推進協会 情報サービスチーム
 TEL：03-3502-5491
 E-Mail：giho-web@jiii.or.jp
 =====

SDI 検索の結果は、毎月 1 日、16 日
の 2 回、E-mail にてお知らせいたし
ます。
 ※検索結果の有無に関わらずメールを
送信いたします。
 ※メールソフトのエンコードによっ
ては文字化けする場合がありますので、
別途お問い合わせ下さい。

4. ユーザー情報の変更について

画面 22 公開技報WEBサービス・登録情報の変更ページ

公開技報WEBサービス・登録情報の変更

ご入力方法
説明にしたがって入力してください
◎の付加された項目は必須入力です
請求先と異なる送付先へ指定の方は●の付加された項目も必須入力となります
◎または●の付加されていない項目は任意入力となります

処理の選択
ID追加 一般ユーザー（最新申込のみまたは公開種別「バー」（全サービス利用可能）の追加を行う場合は、チェックしてください
登録内容の修正を行う場合は、チェックしてください
利用サービスの選択 公開種別「バー」（全サービス利用可能）の追加を行う場合は、チェックしてください
一般ユーザーID（最新申込のみ）の追加を行う場合は、チェックしてください
申込みID数 IDの追加を行う場合は、新規に追加するID数をご入力ください
サービス停止 公開種別「バー」の停止を行う場合は、チェックしてください
登録内容の修正を行う場合は、チェックしてください

得意先コード・会員ID・メールアドレス
得意先コード 得意先コードの付加は任意ですが必須入力です
会員ID 会員IDの付加は任意ですが必須入力です
メールアドレス 任意のメールアドレスを入力してください

請求先情報
◎会社名 株式会社東京データ通信
◎会社名フリガナ トウキョウデータコミュニケーション
部署へご担当者名 技術部
部署へご担当者フリガナ アラムア
◎郵便番号 1050001
◎住所1 港区 赤坂 1-1-1
住所2 第一ビル 2F
◎電話番号 03-7789-XXXX
FAX番号 03-7789-XXXX

送付先情報
●会社名 株式会社東京データ通信
●会社名フリガナ トウキョウデータコミュニケーション
部署へご担当者名 技術部
部署へご担当者フリガナ アラムア
●郵便番号 1050001
●住所1 港区 赤坂 1-1-1
住所2 第一ビル 2F
●電話番号 03-7789-XXXX
FAX番号 03-7789-XXXX

内容をご確認の上「登録確認」ボタンをクリックしてください

ご登録頂いた各項目の情報を変更後、「登録確認」ボタンをクリックし、ご登録内容の確認後、登録を行ってください

画面 23 公開技報WEBサービス・パスワードの変更

公開技報WEBサービス・パスワードの変更

ユーザーID

パスワード

再パスワード

再パスワード(確認)

内容をご確認の上「変更」ボタンをクリックしてください

参考資料：文書入力について

1. 文書入力で使用できる文字

■半角文字

- ・“&”，“<”，“>”以外の半角英数文字をご使用いただけます。
- ・半角カナ文字カタカナは使用できません。
- ・半角読点(A1)，半角鍵カッコ(A2)(A3)，半角句点(A4)，半角中点 (A5) なども半角カナ文字としてチェックされ使用できませんのでご注意ください。

A1	A2	A3	A4	A5
。	「	」	、	・

- ・& (アンパサンド)，< (不等号 より小)，> (不等号 より大) を使用する場合は、全角文字をご使用ください。

■全角文字

- ・JIS 第一水準および JIS 第二水準漢字が使用できますが、JIS 第一水準内で、Shift-JIS コードで 8 1 5 C、8 7 4 0～8 7 8 F、8 7 9 3、8 7 9 4、8 7 9 8、8 7 9 9 の文字は使用できません。
- ・JIS 第二水準内で、Shift-JIS コードで E A A 3、E A A 4 の文字は使用できません。
- ・**下記表内の文字をご使用されてもデータ登録は可能ですが、HTML あるいは PDF では文字化けいたしますのでご使用されないようお願いいたします。**

(使用不可文字は確認ページで赤文字で表示されます)

JIS第一水準内で使用できない文字

												815C			
												—			
8740	8741	8742	8743	8744	8745	8746	8747	8748	8749	874A	874B	874C	874D	874E	874F
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
8750	8751	8752	8753	8754	8755	8756	8757	8758	8759	875A	875B	875C	875D		875F
⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X		ミ
8760	8761	8762	8763	8764	8765	8766	8767	8768	8769	876A	876B	876C	876D	876E	876F
キ	セン	トル	グラ	トン	アル	ヘ	リ	フ	カ	ドル	セン	ベ	ミ	ペ	mm
8770	8771	8772	8773	8774	8775									877E	
cm	km	mg	kg	cc	m ²									平成	
8780	8781	8782	8783	8784	8785	8786	8787	8788	8789	878A	878B	878C	878D	878E	878F
”	”	No.	K.K.	TEL	⊕	⊕	⊕	⊕	⊕	(株)	(有)	(代)	明治	大正	昭和
			8793	8794					8798	8799					
			⊙	Σ					L	△					

JIS第二水準内で使用できない文字

			EAA3	EAA4											
			凜	熙											

2. 特殊な文字の入力方法

技術名称・概要・詳細での太字、斜体、下付文字、上付文字、下線の入力方法について、下記入力例に従ってご入力ください

	記入例	表示例
太字	太字文字	太字文字
斜体	<i>斜体</i>文字	<i>斜体文字</i>
下付	_{下付}文字	_{下付} 文字
上付	^{上付}文字	^{上付} 文字
下線	<u>下線</u>文字	<u>下線</u> 文字